UNI-PEX

工事説明書

書き込み編

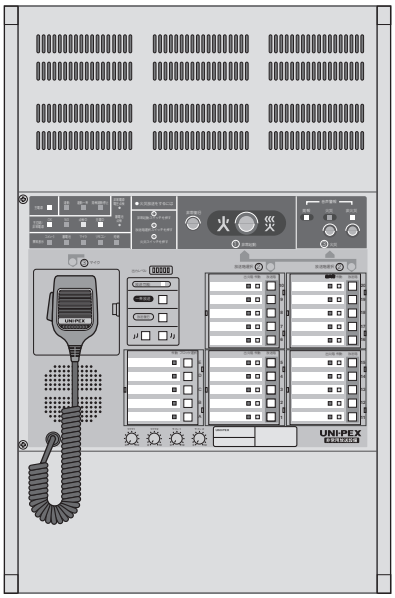
壁掛形非常用放送設備

連動式・10回線
EWA-010B

連動式・10回線・ラジオチューナー付※
EWA-010RB

連動式・20回線
EWA-020B

連動式・20回線・ラジオチューナー付※
EWA-020RB



EWA-020B

書き込みの前に、この説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

目次

書き込みのしかたと確認……2～35
■書き込みについて……2、3
■放送系統表……4、5
■書き込みのしかたと確認……6～35
1.出火階、連動階の指定……6、7
2.階情報指定……8、9
3.タイマー設定……10～12
(1)第1、第2タイマー……10
(2)発報放送の繰り返し回数……11
(3)発報放送の繰り返し間隔……12
4.一斉放送／緊急設定……13
5.ブロック設定……14、15
6.一般リモコン設定……16～19
(1)個別入力設定……16、17
(2)一斉入力／緊急設定……18、19
7.チャイム入力設定……20、21
8.外部起動設定……22、23
9.外部音源入力設定……24、25
10.汎用出力設定……26～31
■オプションボード使用時の階情報指定……32、33
(増設音声合成ボード(別売)を使用する場合)
■工場出荷時の状態・設定モード……34、35

書き込みのしかたと確認

■書き込みについて

●本機には、建物の規模や放送の目的などによって、放送する場所や、機能を指定できる書き込み機能が内蔵されています。

●書き込み機能は10項目あり、本体マイクドア内のスイッチを使って書き込みします。

●項目6～9の一般リモコンなどの書き込みは、端子部短絡または本体操作パネルスイッチから書き込みが可能です。

書き込み時のご注意

記憶スイッチを押したときに表示している設定だけが書き込まれ、記憶されます。
複数の設定値をまとめて書き込みすることはできません。

1. 出火階、連動階の指定 （6ページ参照）

- 地下階やエレベータまたは、業務放送の関係で、1つの階に2つ以上のスピーカー回線がある場合に、出火階と、それに連動して放送される階（連動階など）などの指定をすることができます。
- 1つの放送階選択スイッチが1つの階である場合には、書き込みしなくても、連動階、出火階に放送されます。

2. 階情報指定 （8ページ参照）

- 階情報（自火報からの階別信号をどの放送階選択スイッチに割り付けるか）、及び日本語放送、外国語放送の指定をします。

（日本語のみ、及び日本語と英語、中国語、韓国語の指定ができます。）

3. タイマー設定(1)～(3) （10～12ページ参照）

- 発報放送から火災放送へ移行するまでの時間
  ：第1タイマー
- 火災放送から一斉火災放送へ移行するまでの時間
  ：第2タイマー
- 発報放送の繰り返し回数と繰り返すまでの時間を設定します。

4. 一斉放送／緊急設定 （13ページ参照）

- スピーカーのアッテネーターが「OFF」になっていても、一斉放送したい場所をまとめて放送できます。
  ：緊急・一斉
- アッテネーターが「OFF」のときは放送できなくすることも可能です。：一斉

5. ブロック設定 （14ページ参照）

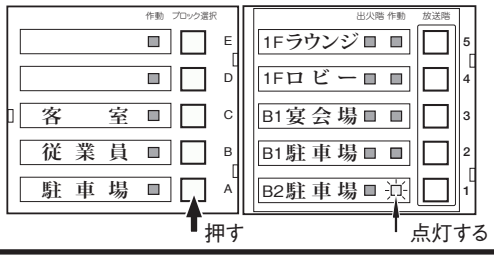
- A～Eのブロック選択スイッチにより、階とは無関係に同一放送したい場所をまとめて放送することができます。
- 例えば、6ページのホテルを例にしますと、各階の従業員室のみ放送したい場合をあらかじめブロック指定（書き込み）しておきますと、ブロック選択スイッチ1つで、従業員室すべてを、まとめて放送することができます。

6. 一般リモコン設定 （16ページ参照）

- 一般リモコンからの放送を **ブロック設定** **一斉／緊急設定** 同様に、まとめて放送することができます。

メ　モ

- **ブロック設定** **一般リモコン個別入力指定** の書き込み指定をしない場合、A～Eのブロック選択スイッチおよび、5局リモコンマイクは、放送階選択スイッチの1～5に対応（10局リモコンマイクは、放送階選択スイッチの1～10に対応）しています。
- Aのブロック選択スイッチを押すと、Aの作動表示灯が点灯し、1のスピーカ回線に放送されます。



7. チャイム入力設定 （20ページ参照）

- 始業や終業および休憩時間などのチャイム放送したい場所をまとめて放送することができます。（書き込み指定しない場合は、一斉放送となります。）

8. 外部起動設定 （22ページ参照）

- 外部放送とは、BGMなどを1日中放送したい場合に使うもので、BGMなどが動作しているときは、常にBGM放送が流れています。途中で、本体マイク放送などでBGM放送が中断されても本体マイク放送などが復旧すれば再びBGMが流れます。
- 外部放送は、**チャイムブロック放送** 同様にまとめて放送することができます。（書き込み指定をしない場合は、緊急一斉放送となります。）

9. 外部音源入力設定 （24ページ参照）

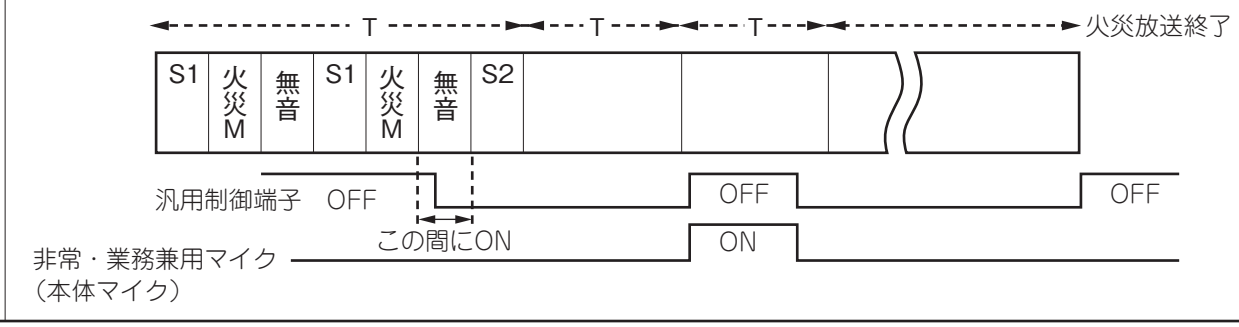
- 外部音源を使用するとき、放送したい場所を指定することができます。（書き込み指定をしない場合は、緊急一斉放送となります。）

10. 汎用出力設定 （26ページ参照）

- この出力端子を7種類の書き込み項目に従い、出力制御できます。（3ページ参照）

汎用制御端子起動及び解除の条件

設定		CN3ピン番号	動作仕様	
①	非常メーク	2	起動の条件	階別（EL）nの入力、または非常動作時の放送階選択スイッチnの押下
			解除の条件	非常復旧スイッチの押下
②	業務n放送 非常時継続	3	起動の条件	業務放送での放送階選択スイッチｎの押下 業務放送でのブロック選択スイッチｎの押下
			解除の条件	業務放送中は放送階選択スイッチｎの解除 業務放送中は放送復旧スイッチの押下
	業務n放送 非常時解除	4	起動の条件	業務放送での放送階選択スイッチｎの押下 業務放送でのブロック選択スイッチｎの押下
			解除の条件	業務放送中は放送階選択ｎの解除 階別信号の入力 非常起動スイッチの押下
③	一般リモコンn放送 非常時継続	5	起動の条件	業務放送での一般リモコンにて放送階選択スイッチｎの押下 業務放送での一般リモコンにて一斉放送スイッチの押下
			解除の条件	業務放送中は一般リモコンの放送階選択スイッチｎの解除
	一般リモコンn放送 非常時解除	6	起動の条件	業務放送での一般リモコンにて放送階選択スイッチｎの押下 業務放送での一般リモコンにて一斉放送スイッチの押下
			解除の条件	業務放送中は一般リモコンの放送階選択スイッチｎの解除 階別信号の入力 非常起動スイッチの押下
④	外部業務放送	7	起動の条件	指定の業務放送がＯＮになったとき
			解除の条件	指定の業務放送が復旧したとき
⑤	音声警報 パターン	8	起動の条件	指定の音声警報がはじまる時
			解除の条件	指定の放送が復旧したとき
⑥	異常状態 パターン	9	起動の条件	指定の異常状態になったとき
			解除の条件	ＣＰＵのリセット
⑦	火災スタート	10	起動の条件	火災放送開始後2回目のメッセージとＳ２シグナル音の間（無音）
			解除の条件	火災放送終了、ただし、メーク時に本体マイクスイッチがＯＮしたときは、スイッチＯＮの間だけブレイク（1秒以内に切り換わること）



【デフォルト】

①	非常メーク	設定なし　起動せず
②	業務ｎ放送非常時継続	設定なし　起動せず
	業務ｎ放送非常時解除	設定なし　起動せず
③	一般リモコンｎ放送非常時継続	設定なし　起動せず
	一般リモコンｎ放送非常時解除	設定なし　起動せず
④	外部放送	設定なし　起動せず
⑤	音声警報パターン	設定なし　起動せず
⑥	異常状態パターン	設定なし　起動せず
⑦	火災スタート	設定なし　起動あり

・nとはELまたは放送階選択の1～10/20、及びブロックA～E、一般リモコン選択1～10、の単独、あるいは複数のORを基本とし、複数のANDも指定できます。

・一斉放送は、単独、複数OR及び複数の全数ORもカバーします。

書き込みのしかたと確認

■放送系統表（書き込みのとき利用してください。）

・放送系統表の使用例

階別明細	スピーカー回線	放送エリア	ブロック放送					一般リモコン放送										チャイム放送	外部放送	外部音源放送
			A	B	C	D	E	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
B2	1	駐車場	○					○												○
B1	2	駐車場	○					○												○
B1	3	宴会場																		
1F	4	ロビー																		
1F	5	ラウンジ																		
2F	6	客　室			○					○									○	
2F	7	従業員		○					○									○		
3F	8	客　室			○					○									○	
4F	9	客　室			○					○									○	
4F	10	従業員		○					○									○		
5F	11	客　室			○					○									○	
6F	12	客　室			○					○									○	
6F	13	従業員		○					○									○		
7F	14	客　室			○					○									○	
8F	15	客　室			○					○									○	
8F	16	従業員		○					○									○		
PH	17	機械室																		
	18	東階段																		
	19	西階段																		
	20	エレベーター																		

※横列は選択スイッチを表わし、縦列は放送階を表わします。

・出火階指定系統表の使用例

連動階その他 ＼ 出火階	B2駐車場	B1駐車場	B1宴会場	1Fロビー	1Fラウンジ	2F客室	2F従業員	3F客室	4F客室	4F従業員	5F客室	6F客室	6F従業員	7F客室	8F客室	8F従業員	PH機械室	東階段	西階段	エレベーター
B2駐車場	●	○	○	○	○															
B1駐車場	○	●	●	○	○															
B1宴会場	○	●	●	○	○															
1Fロビー	○	○	○	●	●															
1Fラウンジ	○	○	○	●	●															
2F客室				○	○	●	●													
2F従業員				○	○	●	●													
3F客室						○	○	●												
4F客室								○	●	●										
4F従業員								○	●	●										
5F客室									○	○	●									
6F客室											○	●	●							
6F従業員											○	●	●							
7F客室												○	○	●						
8F客室														○	●	●				
8F従業員														○	●	●				
PH機械室															○	○	●			
東階段																		○		
西階段																			○	
エレベーター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●

※出火階指定での
●印は出火階を表わし、
○印は連動階その他を表わします。
※横列は出火階を表わし、縦列は連動階などを表わします。

ご注意

- **出火階を指定するとき、1つの階に複数の放送階選択スイッチがあるときは、その階のすべてを押します。**
- **連動階を指定するとき、連動階が地下（B1駐車場など）のときは、地上階（1Fロビーなど）を指定します。またエレベーターがあるときはエレベーターも指定します。**
- **出火階、連動階の指定をしなくても、火災発生時には、出火階（1つの階）、連動階（1つの階）が表示されます。**

この表を使ってブロック放送および、非常時での出火階指定を組んでください。

・放送系統表

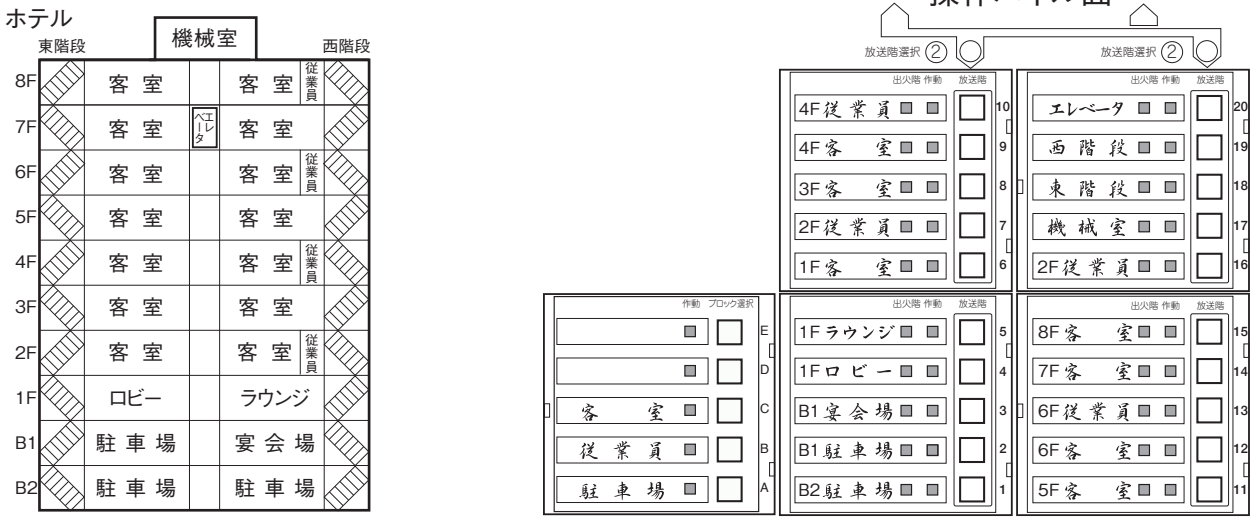
階別明細	スピーカー回線	放送エリア	ブロック放送					一般リモコン放送										チャイム放送	外部放送	外部音源放送
			A	B	C	D	E	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	1																			
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			
	7																			
	8																			
	9																			
	10																			
	11																			
	12																			
	13																			
	14																			
	15																			
	16																			
	17																			
	18																			
	19																			
	20																			

・出火階指定系統表

出火階 / 連動階 その他																				

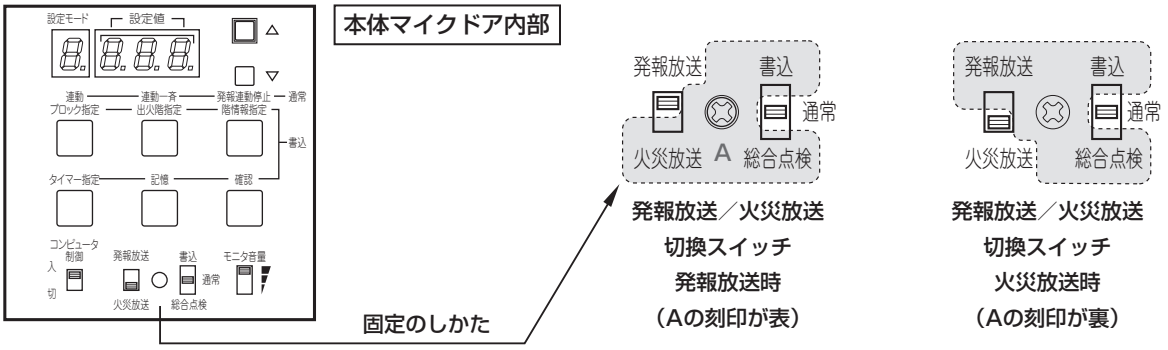
書き込みのしかたと確認

■書き込みのしかたと確認



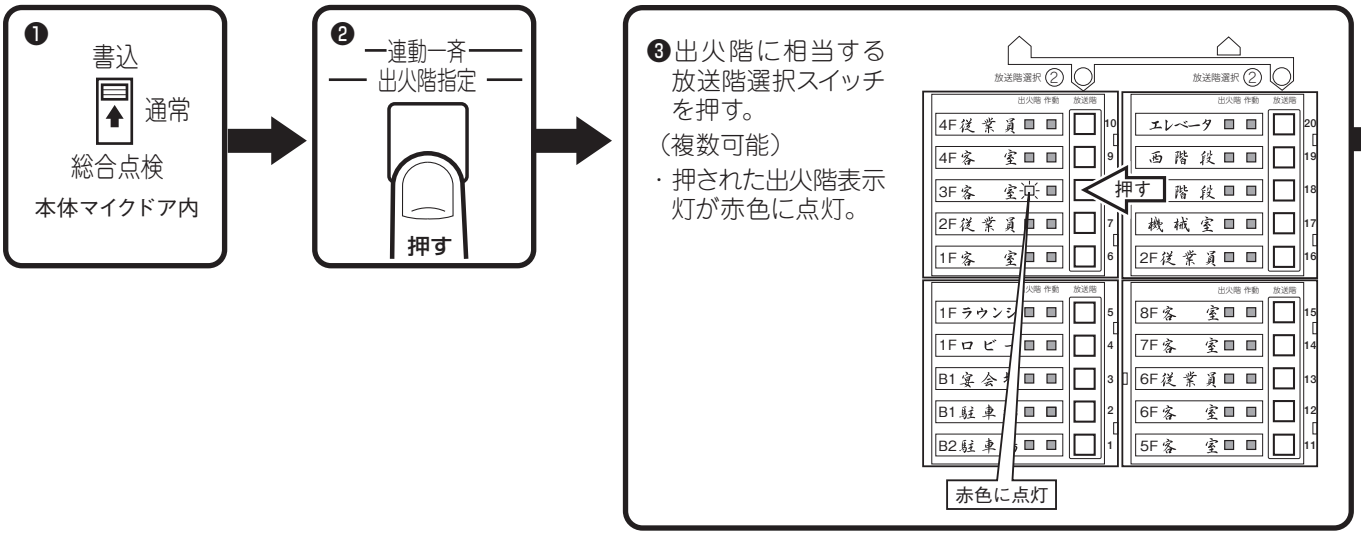
●上図のホテルを例に記憶のしかたと確認を説明します。

- 書き込みは本体マイクドア内の書き込みスイッチを「書込」にしておこないます。固定金具を外し、「書込」にしてください。書き込みが終わったら、必ずスイッチを「通常」に戻し発報放送／火災放送切換スイッチと共に固定金具で固定してください。
- 書き込みスイッチを「書込」にしたまま、約5分間書き込みをしないでいると、警告音（ピー）が鳴り続けます。（どれかスイッチを押すと止まります。）



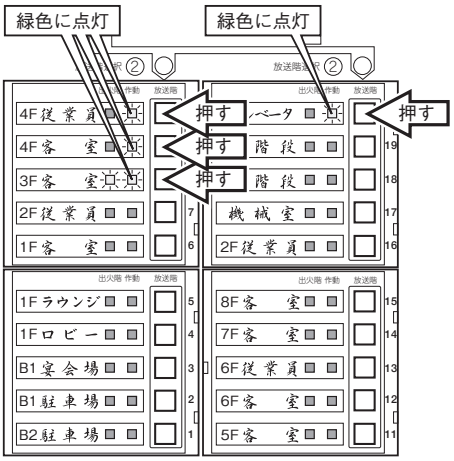
1. 出火階、連動階の指定

【記憶のしかた】



❹
一連動一斉
出火階指定

❺出火階及び連動階に相当する放送階選択スイッチを押す。
（複数可能）
・押された放送階選択作動表示灯が点灯。



❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

・設定値が書き込みされる。
・放送階選択作動表示灯消灯。
・出火階表示灯消灯。

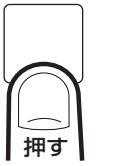
❼それぞれの階を出火階として、❷～❻を繰り返します。

❽
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

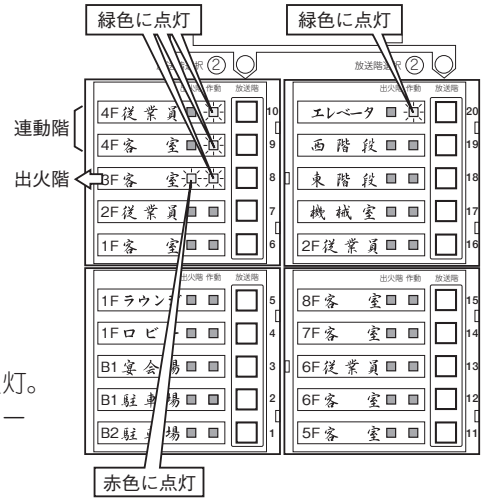
【記憶した内容を確認するには】

❶前記（記憶のしかた）の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。



・設定されている出火階表示灯（赤色）が点灯。
（複数もある）
・その出火階の作動表示灯（緑色）が点灯。
・連動階設定されている作動表示灯（緑色）が点灯。
・階情報を持つ「火災放送」がモニタースピーカーのみに放送される。



❸前記（記憶のしかた）の❷～❸の操作を繰り返してそれぞれの階を確認します。

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

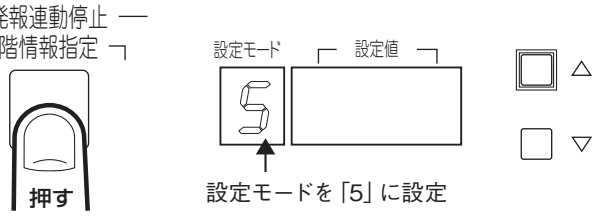
書き込みのしかたと確認

2. 階情報指定

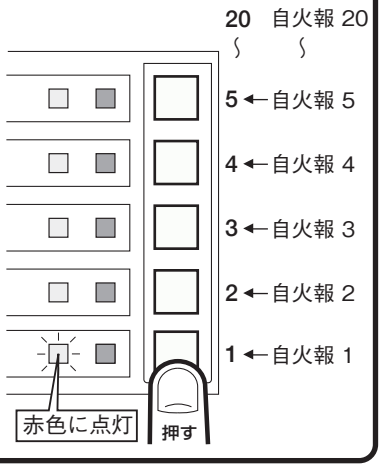
【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

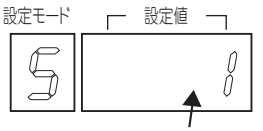
❷階情報指定スイッチを押す。
設定モード表示を「5」に設定する。



❸放送階選択スイッチ1を押す。
・出火階表示灯1（赤色）が点灯。
・設定されている階情報の番号が設定値表示部に表示される。
放送階選択スイッチの番号は自火報の番号を意味します。



❹「△」「▽」スイッチにより自火報のある場所（1〜20［10］）に階情報を設定します。階情報は下表により設定します。

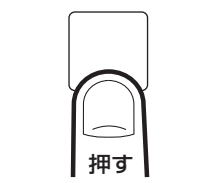


△ このスイッチを押すたびに階情報番号表示が「1」増えます。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で「1」増え続けます。

▽ このスイッチを押すたびに階情報番号表示が「1」減ります。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で「1」減り続けます。

表示番号	階情報	表示番号	階情報	表示番号	階情報
1	1階	11	11階	21	地下1階
2	2階	12	12階	22	地下2階
3	3階	13	13階	23	地下3階
4	4階	14	14階	24	エレベーター
5	5階	15	15階	25	階段
6	6階	16	16階	26	屋上
7	7階	17	17階	27	体育館
8	8階	18	18階	28	講堂
9	9階	19	19階	− − −	階情報なし
10	10階	20	20階		

❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・出火階表示灯が消灯。
・階情報番号表示が消灯。
・階情報の入った「発報放送」がモニタースピーカーのみに放送される。

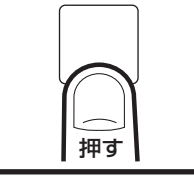
❻上記❸〜❺を繰り返しそれぞれの階情報の設定をおこなう。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

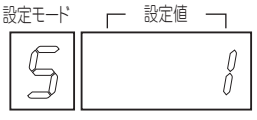
【記憶した内容を確認するには】

❶上記❶〜❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。



❸階情報の入った「発報放送」がモニタースピーカーのみに放送される。



（例）

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【放送言語の設定】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷階情報指定スイッチを2回押す。
設定モード表示を「6」に設定する。
発報連動停止
階情報指定
押す
設定モード　設定値
設定モードを「6」に設定

❸「△」「▽」スイッチを押し、言語設定を切り換える。
設定モード　設定値
押す
日本語のみ
日本語＋英語
日本語＋英語＋第2外国語
日本語＋英語＋第3外国語
日本語＋英語＋第2外国語＋第3外国語
※第2外国語：中国語
第3外国語：韓国語

❹記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・放送言語表示が消灯。

❺
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

❶上記❶～❷をおこなう。

❷
・現在の設定が表示される。
設定モード　設定値

❸
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

3. タイマー設定　(1)第1タイマー／第2タイマー

【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷タイマー指定スイッチを押す。
- **第1タイマーの設定する場合**
  設定モード表示を「1」に設定する。
- **第2タイマーの設定する場合**
  設定モード表示を「2」に設定する。

タイマー指定
第1タイマーは「1回」、第2タイマーは「2回」押す
押す

設定モード　設定値
1　2.0
△
▽
設定モードを「1」または「2」に設定

❸「△」「▽」スイッチにより時間を設定する。(単位は分です)

設定モード　設定値
1　2.0
第1、第2タイマー時間表示
初期設定値は「2.0」分

△ このスイッチを押すたびにタイマー時間表示が0.5(分)増えます。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で0.5(分)増え続けます。

▽ このスイッチを押すたびにタイマー時間表示が0.5(分)減ります。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で0.5(分)減り続けます。

❹記憶スイッチを押す。確認音(ピー)が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・時間表示が消灯。

❺
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【第1タイマーの設定範囲】2.0分～15.0分(0.5分間隔)
※5分を超える設定にする場合は、消防署の許可が必要です。

設定モード　設定値　1　2.0
2.0分　0.5分間隔　15.0分
設定モード　設定値　1　15.0
「△」ボタン操作時の方向
「▽」ボタン操作時の方向

【第2タイマーの設定範囲】2.0分～5.0分(0.5分間隔)／「0.0」／「oFF」

設定モード　設定値　2　2.0
2.0分　0.5分間隔　5.0分
設定モード　設定値　2　5.0
「△」ボタン操作時の方向
設定モード　設定値　2　oFF
設定モード　設定値　2　0.0
「▽」ボタン操作時の方向

【第1タイマーと第2タイマー】

発報放送 → 火災放送 → 一斉火災放送
第1タイマー
第2タイマー

【記憶した内容を確認するには】

❶上記❶、❷をおこなう。

❷
・現在のタイマー時間が表示されます。
設定モード　設定値　1　7.5　(例)

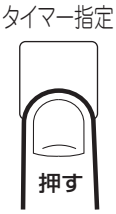
❸
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

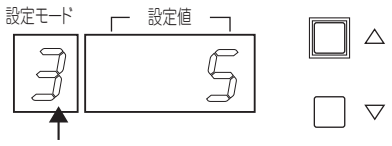
3. タイマー設定　(2)発報放送の繰り返し回数

【記憶のしかた】

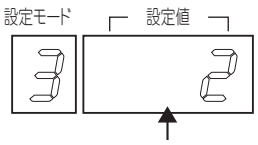
❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷タイマー指定スイッチを3回押す。
設定モード表示を「3」に設定する。





❸「△」「▽」スイッチにより繰り返し回数を設定する。



△ このスイッチを押すたびに繰り返し回数表示が1（回）増えます。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で1（回）増え続けます。

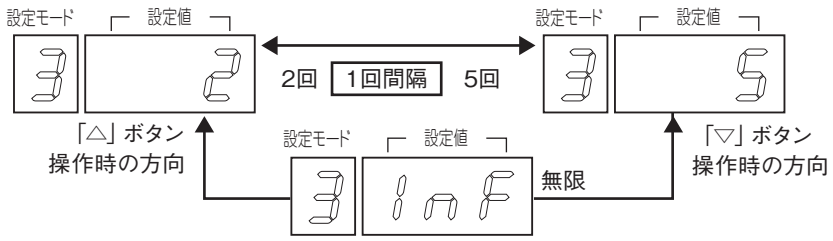
▽ このスイッチを押すたびに繰り返し回数表示が1（回）減ります。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で1（回）減り続けます。

❹記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶

・設定値が書き込みされる。
・繰り返し回数表示が消灯。

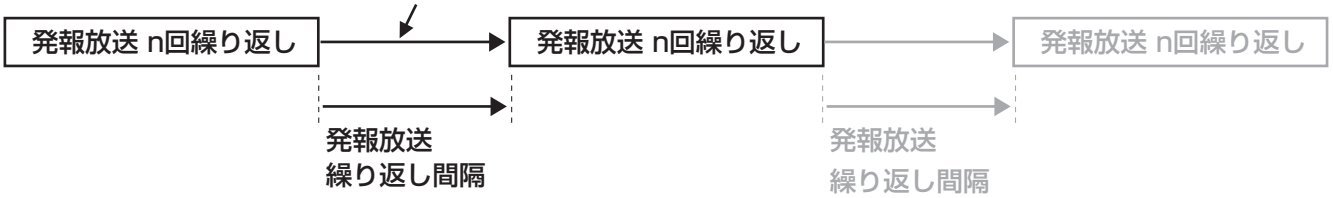
❺
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【繰り返し回数範囲】　2回～5回（1回間隔）／InF（無限）



【発報放送繰り返し回数】

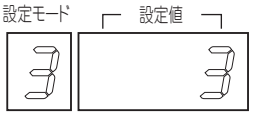
発報放送繰り返し間隔設定（12ページをご覧ください。）



【記憶した内容を確認するには】

❶上記❶、❷をおこなう。

❷
・現在の繰り返し回数が表示されます。



（例）

❸
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

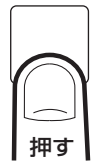
書き込みのしかたと確認

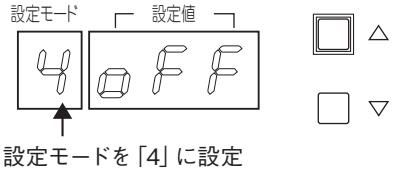
3. タイマー設定　(3)発報放送の繰り返し間隔

【記憶のしかた】

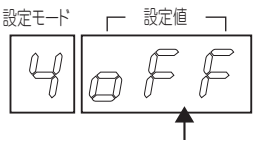
❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷タイマー指定スイッチを4回押す。
設定モード表示を「4」に設定する。





❸「△」「▽」スイッチにより繰り返し間隔時間を設定する。(単位は秒です)



△ このスイッチを押すたびに繰り返し間隔表示が1(秒)増えます。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で1(秒)増え続けます。

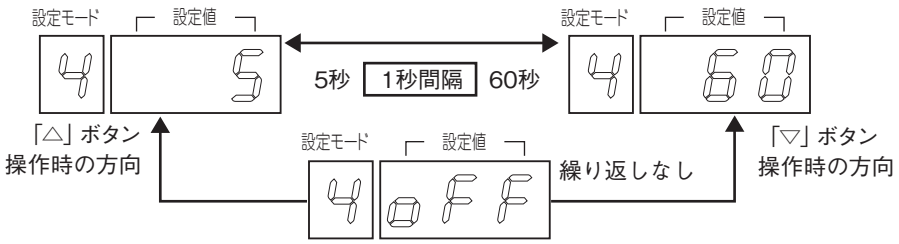
▽ このスイッチを押すたびに繰り返し間隔表示が1(秒)減ります。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で1(秒)減り続けます。

❹記憶スイッチを押す。確認音(ピー)が約1秒鳴ります。

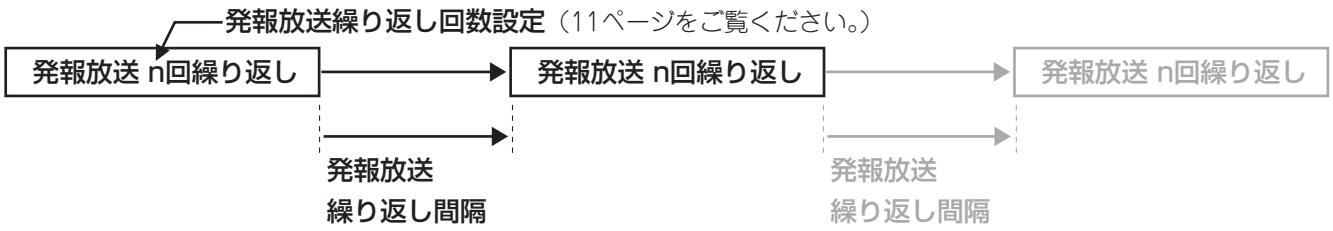
・設定値が書き込みされる。
・繰り返し間隔表示が消灯。

❺
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【繰り返し間隔範囲】　5秒～60秒(1秒間隔)／oFF(繰り返しなし)



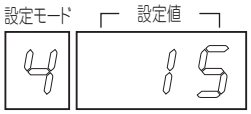
【発報放送繰り返し間隔】



【記憶した内容を確認するには】

❶上記❶、❷を
おこなう。

❷
・現在の繰り返し間隔が表示されます。



❸
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

4. 一斉放送/緊急設定

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。
連動
ブロック指定
押す
設定モード　設定値
設定モードを「7」に設定

❸一斉放送スイッチを押す。
一斉放送
押す
・全放送階選択作動表示灯が点灯する。

❹「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。
設定モード　設定値
△
▽
このスイッチを押すたびに設定値表示部が［U］と［ ］に交互に切り替わります。
［U］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）
［ ］表示：緊急指定なし
（通常一斉放送）

❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・全作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❻
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

❶上記の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。
確認
押す

❸
・全作動表示灯が点灯。
出火階 作動 放送階
1Fラウンジ 5
1Fロビー 4
B1宴会場 3
B1駐車場 2
B2駐車場 1
緑色に点灯
すべての作動表示灯が緑色に点灯します。
・設定値表示部に緊急指定状態を表示。
設定モード　設定値
［U］：緊急指定あり
設定モード　設定値
無表示：緊急指定なし

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

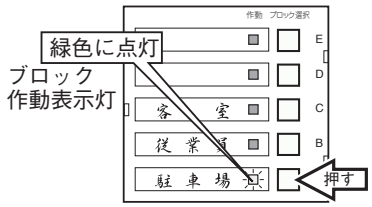
5. ブロック設定

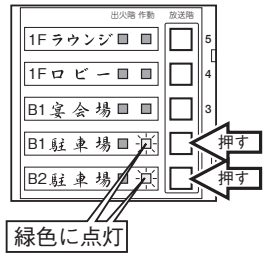
〈設定例〉●駐車場だけに放送するため、ブロック選択スイッチ 駐車場 を押すと、B1 駐車場 B2 駐車場 の作動表示灯が点灯し、放送ができます。

【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。
連動
ブロック指定
押す
設定モード
設定値
設定モードは「7」を表示

❸ブロック選択スイッチを押す。


❹放送する所の放送階選択スイッチを押す。（複数可）


❺「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。
設定モード
設定値
△
▽
このスイッチを押すたびに設定値表示部が［U］と［　］に交互に切り替わります。
［U］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）
［　］表示：緊急指定なし
（通常ブロック放送）

❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・ブロック作動表示灯消灯。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

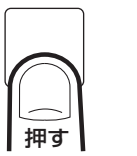
❼上記❷～❻を繰り返しそれぞれのブロックの設定をおこなう。

❽
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

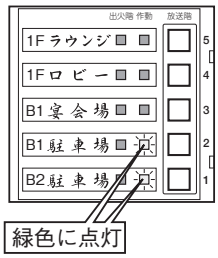
❶左記の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。

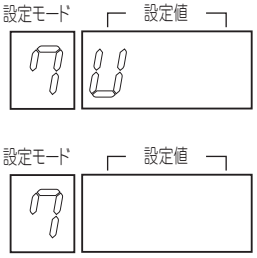


❸

・ブロック設定された作動表示灯が点灯。



・設定値表示部に緊急指定状態を表示。



例：B1 駐車場 B2 駐車場の作動表示灯が緑色に点灯することを確認します。

❹

書込

通常

総合点検

本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

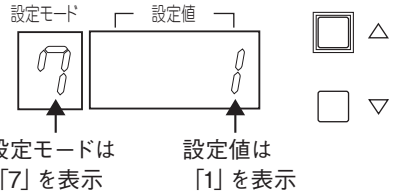
6. 一般リモコン設定　(1) 個別入力設定　一入力端子による方法

〈設定例〉 ●リモコンマイクで、駐車場にいる人の呼び出しをするため、リモコンマイクの放送ボタンを押すと、
B1 駐車場 B2 駐車場 の作動表示灯が点灯し、放送ができます。

【記憶のしかた】

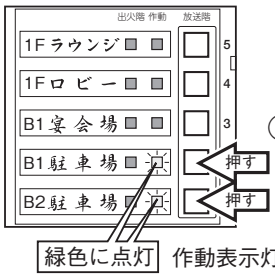
❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷一般リモコン個別入力端子1とCOM端子を短絡させ、下記表示を確認し、解除する。

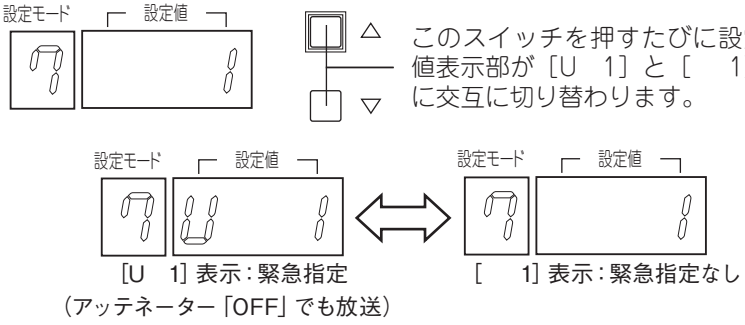


ご注意
- ●単局リモコンを一斉でご使用になるときは、ブロック放送できません。
- ●一般多局リモコンを接続して書き込む場合はリモコンマイクの回線選択スイッチを押してください。

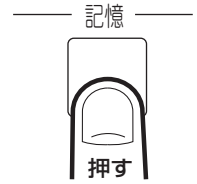
❸放送する所の放送階選択スイッチを押す。



❹「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。



❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



- ・設定値が書き込みされる。
- ・作動表示灯消灯。
- ・設定モード、設定値無表示。

❻上記❷～❺を繰り返しそれぞれのブロックの設定をおこなう。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

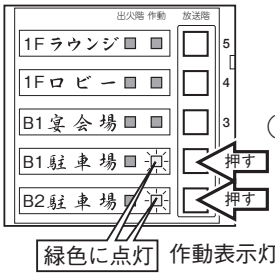
ーパネル操作による方法

【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。
連動
ブロック指定
押す
設定モード
設定値
設定モードは「7」を表示

❸「△」「▽」スイッチにより設定値に一般リモコン個別入力設定番号を設定する。
設定モード
設定値
△
▽
設定値を一般リモコン個別入力番号を設定

❹放送する所の放送階選択スイッチを押す。


（複数可）

❺「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。
設定モード
設定値
△
▽
このスイッチを押すたびに設定値表示部が［U　1］と［　1］に交互に切り替わります。
［U　1］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）
［　1］表示：緊急指定なし

❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

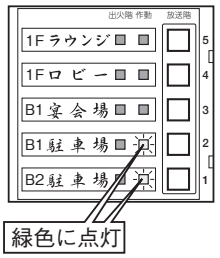
❼上記❷～❻を繰り返しそれぞれのブロックの設定をおこなう。

❽
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

❶上記の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。
確認
押す

❸
・設定された放送階の作動表示灯が点灯。


・設定値表示部に緊急指定状態を表示。
設定モード
設定値
［U　1］表示：緊急指定あり
［　1］表示：緊急指定なし
例：B1 駐車場　B2 駐車場の作動表示灯が緑色に点灯することを確認します。

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

6. 一般リモコン設定　(2) 一斉入力／緊急設定　ー入力端子による方法

〈設定例〉 ●リモコンマイクで、全階にいる人の呼び出しをするため、リモコンマイクの放送ボタンを押すと全作動表示灯が点灯し、放送ができます。

【記憶のしかた】

❶

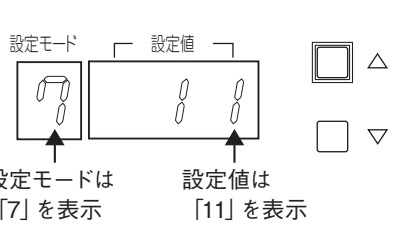
書込

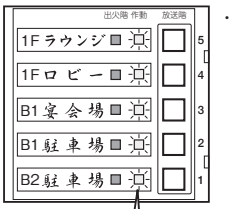
通常

総合点検

本体マイクドア内

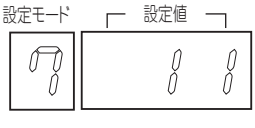
❷一般リモコン一斉入力端子とCOM端子を短絡させ、下記表示を確認し、解除する。

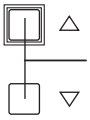




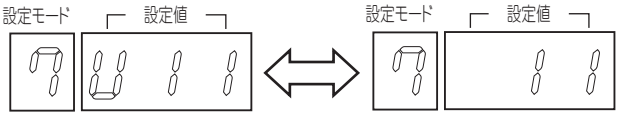
・全作動表示灯が点灯。

❸「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。





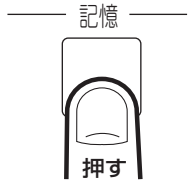
このスイッチを押すたびに設定値表示部が［U 11］と［　11］に交互に切り替わります。



［U 11］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）

［　11］表示：緊急指定なし

❹記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❺

書込

通常

総合点検

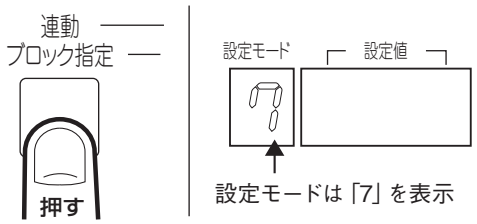
本体マイクドア内

ー パネル操作による方法

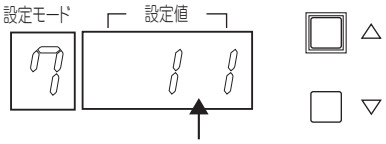
【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。



❸「△」「▽」スイッチにより、設定値に「一般リモコン個別入力一斉」設定番号を設定する。

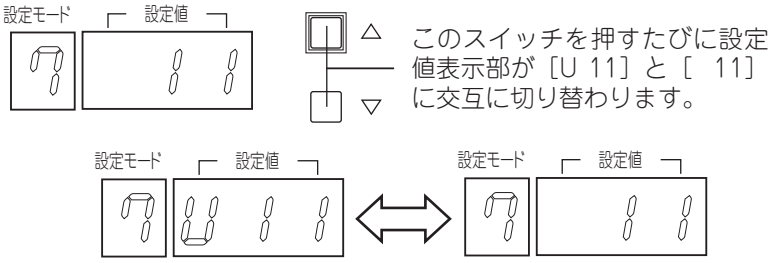


設定値に、一般リモコン個別入力一斉「11」を設定

❹ー斉放送スイッチを押す。

• 全作動表示灯が点灯する。

❺「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。



❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

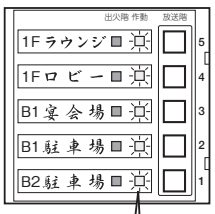
【記憶した内容を確認するには】

❶上記の❶～❸をおこなう。

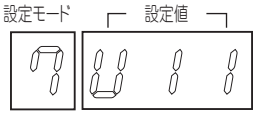
❷確認スイッチを押す。

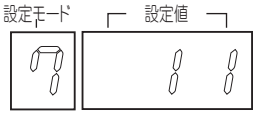
❸

・全作動表示灯が点灯。



・設定値表示部に緊急指定状態を表示。





すべての作動表示灯が緑色に点灯します。

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

7. チャイム入力設定　ー入力端子による方法

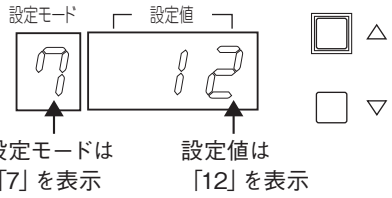
〈設定例〉●チャイム放送を従業員室に流すため、ミュージックチャイムのチャイムスイッチを押すと、
2F 従業員　4F 従業員　6F 従業員　8F 従業員 の作動表示灯が緑色に点灯し、チャイム放送が流れます。

【記憶のしかた】

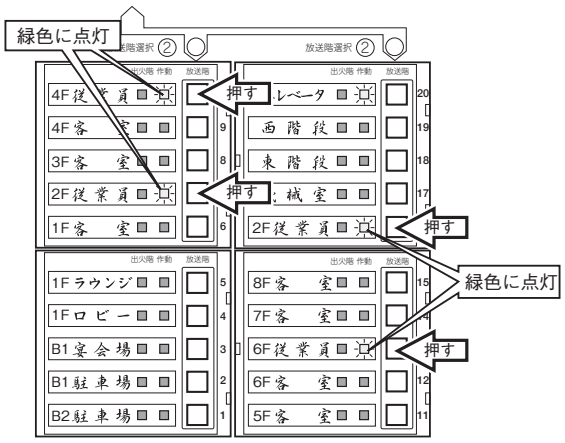
❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷本体内部端子台の「業務音声入力端子」のチャイム起動端子とCOM端子を短絡させ、右記表示を確認し、解除する。
（工事説明書本編16ページ）

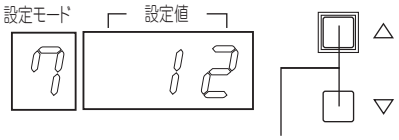
記憶できるブロックは1つだけです。



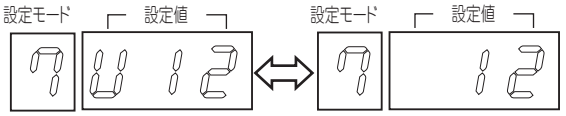
❸放送する放送階選択スイッチを押す。（複数可）
押した作動表示灯が点灯。



❹「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。



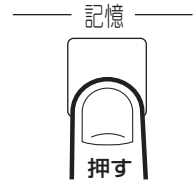
このスイッチを押すたびに設定値表示部が
[U 12] と [12] に交互に切り替わります。



[U 12] 表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）

[12] 表示：緊急指定なし

❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・ブロック選択作動表示灯消灯。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❻
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

ーパネル操作による方法

【記憶のしかた】

❶

書込

通常

総合点検

本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。

連動

ブロック指定

押す

設定モード　設定値

設定モードは「7」を表示

❸「△」「▽」スイッチにより、設定値に「チャイム入力」設定番号を設定する。

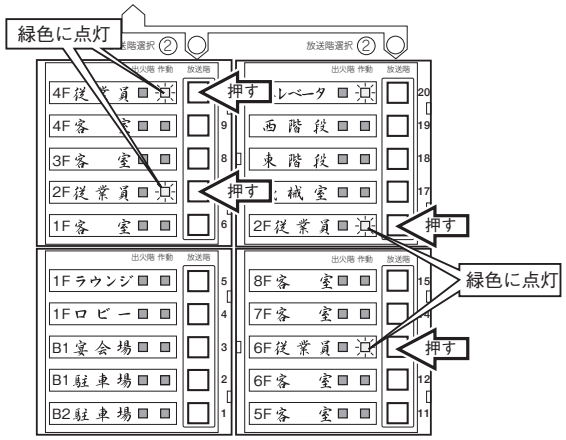
設定モード　設定値

△

▽

設定値に、チャイム入力「12」を設定

❹放送する放送階選択スイッチを押す。（複数可）
押した作動表示灯が点灯。



❺「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。

設定モード　設定値

△

▽

このスイッチを押すたびに設定値表示部が
［U 12］と［ 12］に交互に切り替わります。

設定モード　設定値　⇔　設定モード　設定値

［U 12］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）

［ 12］表示：緊急指定なし

❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

記憶

押す

・設定値が書き込みされる。
・ブロック選択作動表示灯消灯。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼

書込

通常

総合点検

本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

❶上記の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。

確認

押す

❸

・設定された放送階の作動表示灯が点灯。
・設定値表示部に緊急指定状態を表示。

設定モード　設定値　⇔　設定モード　設定値

［U 12］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）

［ 12］表示：緊急指定なし

❹

書込

通常

総合点検

本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

8. 外部起動設定　ー入力端子による方法

〈設定例〉 ●BGM放送を客室に流すため、BGM演奏装置にカートリッジを入れると 2F 客室 から 8F 客室 の作動表示灯が緑色に点灯し、BGM放送ができます。

【記憶のしかた】

❶

書込

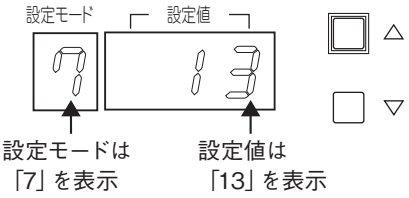
通常

総合点検

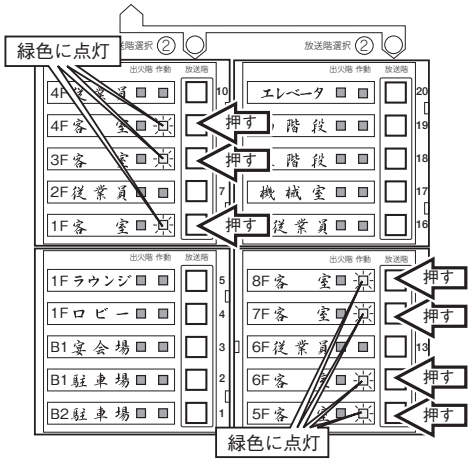
本体マイクドア内

❷本体内部端子台の「業務音声入力端子」の外部起動端子とCOM端子を短絡させ、右記表示を確認し、解除する。
（工事説明書本編16ページ）

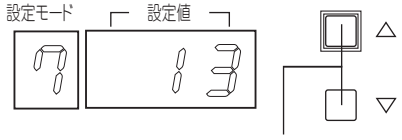
記憶できるブロックは1つだけです。



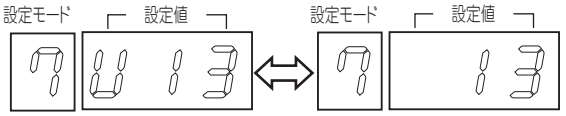
❸放送する放送階選択スイッチを押す。（複数可）
押した作動表示灯が点灯。



❹「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。



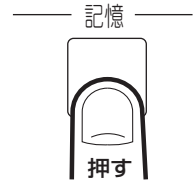
このスイッチを押すたびに設定値表示部が
[U 13] と [13] に交互に切り替わります。



[U 13] 表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）

[13] 表示：緊急指定なし

❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❻

書込

通常

総合点検

本体マイクドア内

ーパネル操作による方法

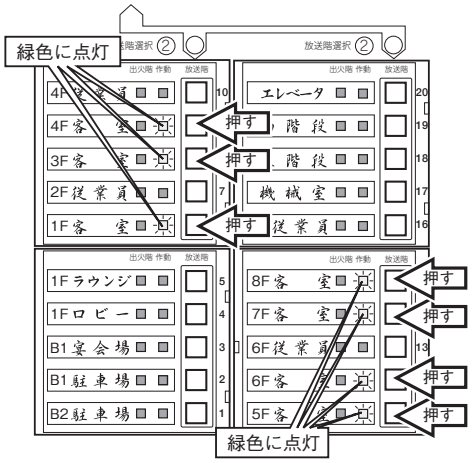
【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。
連動
ブロック指定
押す
設定モード
設定値
設定モードは「7」を表示

❸「△」「▽」スイッチにより、設定値に「外部起動」設定番号を設定する。
設定モード
設定値
△
▽
設定値に、外部起動「13」を設定

❹放送する放送階選択スイッチを押す。（複数可）
押した作動表示灯が点灯。



❺「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。
設定モード
設定値
△
▽
このスイッチを押すたびに設定値表示部が
[U 13] と [13] に交互に切り替わります。
[U 13] 表示：緊急指定
[13] 表示：緊急指定なし
（アッテネーター「OFF」でも放送）

❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・ブロック選択作動表示灯消灯。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

❶上記の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。
確認
押す

❸
・設定された放送階の作動表示灯が点灯。
・設定値表示部に緊急指定状態を表示。
設定モード
設定値
[U 13] 表示：緊急指定
[13] 表示：緊急指定なし
（アッテネーター「OFF」でも放送）

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

書き込みのしかたと確認

9. 外部音源入力設定　ー入力端子による方法

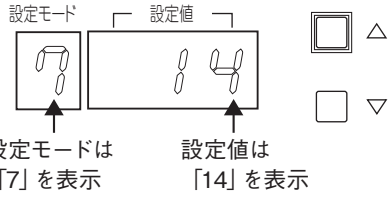
〈設定例〉●外部音源による放送を駐車場に流すため外部音源を「ON」させると、B1 駐車場　B2 駐車場 の作動表示灯が緑色に点灯し、アナウンス放送が流れます。

【記憶のしかた】

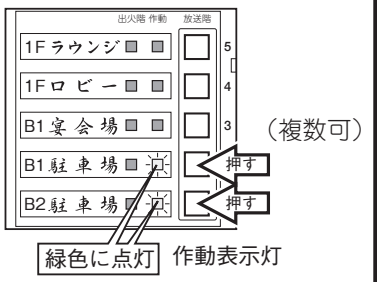
❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷本体内部端子台の「業務音声入力端子」の外部音源起動端子とCOM端子を短絡させ、右記表示を確認し、解除する。
（工事説明書本編16ページ）

記憶できるブロックは1つだけです。

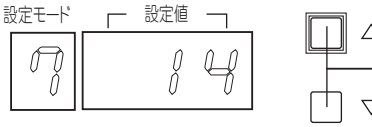


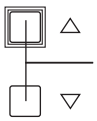
❸放送する所の放送階選択スイッチを押す。



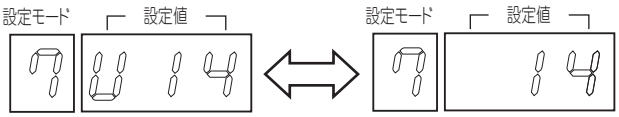
（複数可）

❹「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。





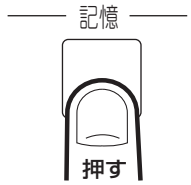
このスイッチを押すたびに設定値表示部が［U 14］と［ 14］に交互に切り替わります。



［U 14］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）

［ 14］表示：緊急指定なし

❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❻
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

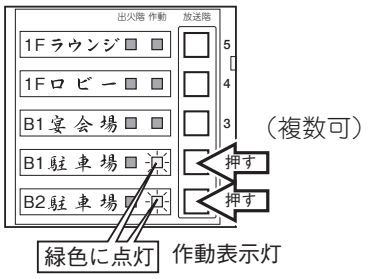
ーパネル操作による方法

【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを押す。
連動
ブロック指定
押す
設定モード　設定値
設定モードは「7」を表示

❸「△」「▽」スイッチにより、設定値に「外部音源入力」設定番号を設定する。
設定モード　設定値
△
▽
設定値に、外部音源「14」を設定

❹放送する所の放送階選択スイッチを押す。


（複数可）
緑色に点灯　作動表示灯

❺「△」「▽」スイッチにより緊急指定を設定する。
設定モード　設定値
△
▽
このスイッチを押すたびに設定値表示部が［U 14］と［ 14］に交互に切り替わります。
［U 14］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）
［ 14］表示：緊急指定なし

❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。
記憶
押す
・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

【記憶した内容を確認するには】

❶上記の❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。
確認
押す

❸
・設定された放送階の作動表示灯が点灯。
・設定値表示部に緊急指定状態を表示。
設定モード　設定値
［U 14］表示：緊急指定
（アッテネーター「OFF」でも放送）
［ 14］表示：緊急指定なし

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

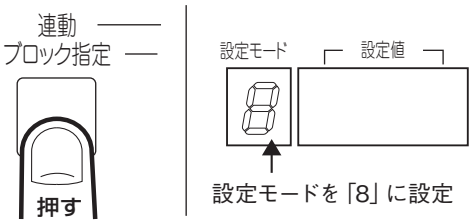
書き込みのしかたと確認

10. 汎用出力設定

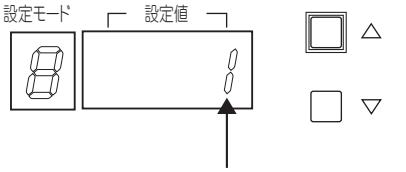
【設定項目の設定】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

❷ブロック指定スイッチを2回押す。



❸「△」「▽」スイッチにより設定項目の設定番号を表示部に設定する。

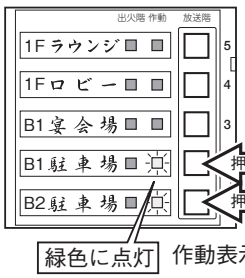


設定番号表

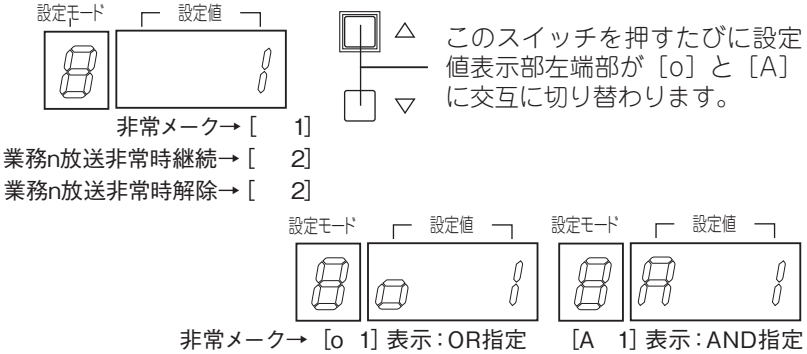
	項　　目	設定番号(設定値表示部)	参照ページ
①	非常メーク	1	26、27ページ
②	業務n放送非常時継続	2	
	業務n放送非常時解除		
③	一般リモコンn放送非常時継続	3	27、28ページ
	一般リモコンn放送非常時解除		
④	外部業務放送	4	29ページ
⑤	音声警報パターン	5	30ページ
⑥	異常状態パターン	6	31ページ
⑦	火災スタート	表示なし	

【1．非常メーク、2．業務n放送非常時継続、業務n放送非常時解除の設定】

❹設定する箇所の放送階選択スイッチ（1～10/20）を押す。



❺「△」「▽」スイッチによりORまたはANDを設定する。



❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

注意

- 業務 n 放送非常時継続と業務 n 放送非常時解除での放送階選択又はブロック選択の設定内容は同じです。一方で設定すれば他方も同じ放送階又はブロックの指定となり、非常時継続、解除の動作をします。

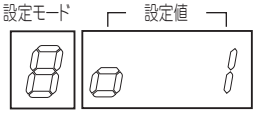
【1．非常メーク、2．業務n放送非常時継続、業務n放送非常時解除の設定内容を確認するには】

❶左記の❶～❸をおこなう。

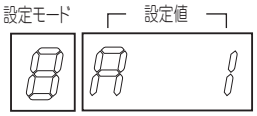
❷確認スイッチを押す。

❸

・設定された放送階の作動表示灯が点灯。
・設定値表示部にOR/ANDの設定値を表示。



非常メーク→ [o 1] 表示：OR指定
業務n放送非常時継続→ [o 2] 表示：OR指定
業務n放送非常時解除→ [o 2] 表示：OR指定



非常メーク→[A 1] 表示：AND指定
業務n放送非常時継続→[A 2] 表示：AND指定
業務n放送非常時解除→[A 2] 表示：AND指定

❹

書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

【1．非常メーク、2．業務n放送非常時継続、業務n放送非常時解除の設定取消】

・左記の❶～❸、❻、❼の操作をおこなう。❹、❺の操作はおこなわない。

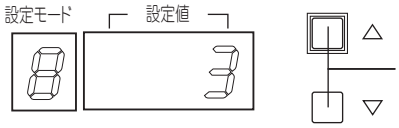
【3．一般リモコンn放送非常時継続、一般リモコンn放送非常時解除】

●リモコン端子を短絡させる場合

❹本体内部端子台の「一般リモコン端子入力」（複数可）とCOM端子を短絡させます。
・作動表示灯点灯

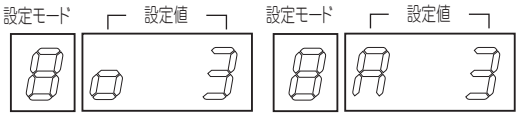
または「一般リモコン端子一斉入力」とCOM端子を短絡させます。
・全作動表示灯点灯

❺「△」「▽」スイッチによりORまたはANDを設定する。



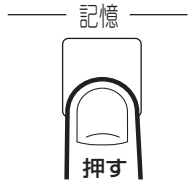
このスイッチを押すたびに設定値表示部左端部が［o］と［A］に交互に切り替わります。（一斉入力の場合を除く）

一般リモコンn放送非常時継続→ [3]
一般リモコンn放送非常時解除→ [3]



一般リモコンn放送非常時継続→[o 3] 表示：OR指定　[A 3] 表示：AND指定
一般リモコンn放送非常時解除→[o 3] 表示：OR指定　[A 3] 表示：AND指定

❻記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼

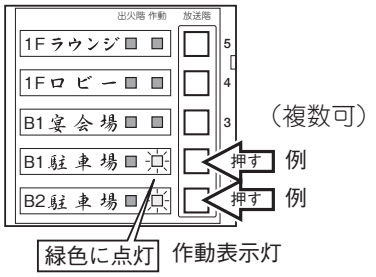
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

書き込みのしかたと確認

【3. 一般リモコンn放送非常時継続、一般リモコンn放送非常時解除】

●操作パネルだけ使用して設定する場合

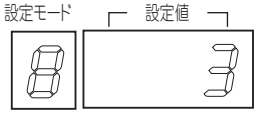
❹設定する箇所の放送階選択スイッチ（1〜10）を押す。



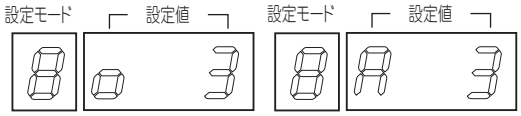
（複数可）

または、一斉スイッチを押す。
・全作動表示灯点灯

❺「△」「▽」スイッチによりORまたはANDを設定する。



このスイッチを押すたびに設定値表示部左端部が［o］と［A］に交互に切り替わります。（一斉入力の場合を除く）



一般リモコンn放送非常時継続→［o 3］表示：OR指定　［A 3］表示：AND指定
一般リモコンn放送非常時解除→［o 3］表示：OR指定　［A 3］表示：AND指定

❻記憶スイッチを押す。
確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❼
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

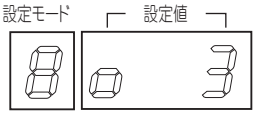
注意
- リモコン（1〜10）と一斉の同時使用は不可、一斉での設定となる。

【3. 一般リモコンn放送非常時継続、一般リモコンn放送非常時解除の設定内容を確認するには】

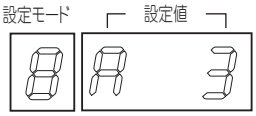
❶26ページの❶〜❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。

❸
・設定された放送階の作動表示灯が点灯。
・設定値表示部にOR/ANDの設定値を表示。



一般リモコンn放送非常時継続→［o 3］表示：OR指定
一般リモコンn放送非常時解除→［o 3］表示：OR指定



一般リモコンn放送非常時継続→［A 3］表示：AND指定
一般リモコンn放送非常時解除→［A 3］表示：AND指定

❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

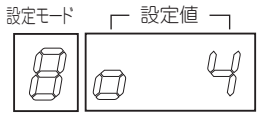
【4. 一般リモコンn放送非常時継続、5. 一般リモコンn放送非常時解除の設定取消】

・26ページの❶〜❸と上記の設定手順❻、❼の操作をおこなう。❹、❺の操作はおこなわない。

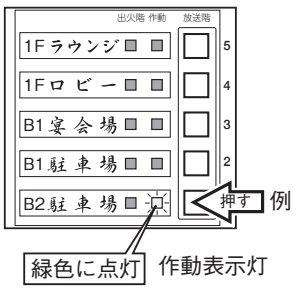
注意
- 一般リモコンｎ放送非常時継続と一般リモコンｎ放送非常時解除での放送階選択の設定内容は同じです。一方で設定すれば他方も同じ放送階又はブロックの指定となり、非常時継続、解除の動作をします。

【4. 外部業務放送】

❹起動入力としたい外部業務放送に該当する放送階選択スイッチを押す。（複数選択可／OR指定）



・各外部業務放送に該当する放送階選択スイッチ（1～5）は下表のとおりです。



放送階選択スイッチ

放送階選択スイッチ	外部業務放送
1	外部音源
2	チャイム
3	外部起動
4	一般リモコン
5	非常リモコン業務放送

❺記憶スイッチを押す。
確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❻
書込

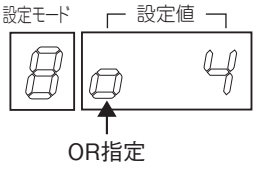
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

【4. 外部業務放送の設定内容を確認するには】

❶26ページの❶～❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。

❸
・設定された外部業務放送に該当する放送階作動表示灯が点灯。
・設定値表示部にORを表示。



❹
書込

総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

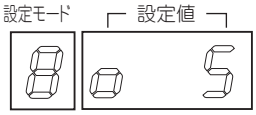
【4. 外部業務放送の設定取消】

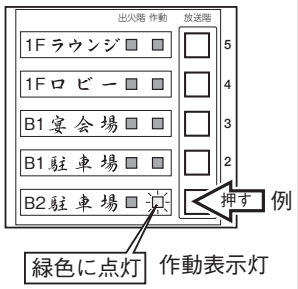
・26ページの❶～❸と上記の設定手順❺、❻の操作をおこなう。❹の操作はおこなわない。

書き込みのしかたと確認

【5. 音声警報パターンの設定】

❹警報パターンに該当する放送階選択スイッチを押す。（複数選択可／OR指定）





・各警報パターンに該当する放送階選択スイッチ（1〜3）は下表のとおりです。

放送階選択スイッチ

放送階選択スイッチ	音声警報
1	発報放送
2	火災放送
3	非火災放送

❺記憶スイッチを押す。
確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

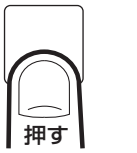
・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

❻
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

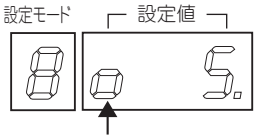
【5. 音声警報パターンの設定内容を確認するには】

❶22ページの❶〜❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。



❸
・設定された警報パターンに該当する作動表示灯が点灯。
・設定値表示部にORを表示。



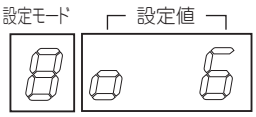
❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

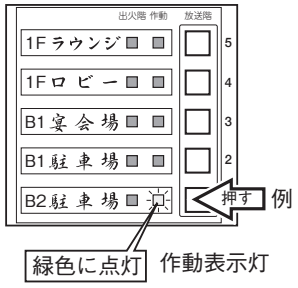
【5. 音声警報パターンの設定取消】

・26ページの❶〜❸と上記の設定手順❺、❻の操作をおこなう。❹の操作はおこなわない。

【6. 異常状態の設定】

❹起動入力としたい異常状態に該当する放送階選択スイッチを押す。
（複数選択可／OR指定）





・各異常状態に該当する放送階選択スイッチ（1〜5）は下表のとおりです。

放送階選択スイッチ

放送階選択スイッチ	異常状態
1	短絡
2	本体マイク異常
3	リモコン回線異常
4	蓄電池異常
5	音声合成異常

❺記憶スイッチを押す。
確認音（ピー）が約1秒鳴ります。

・設定値が書き込みされる。
・作動表示灯消灯。
・設定モード、設定値無表示。

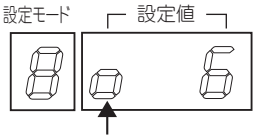
❻
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

【6. 異常状態の設定内容を確認するには】

❶22ページの❶〜❸をおこなう。

❷確認スイッチを押す。

❸
・設定された異常状態に該当する作動表示灯が点灯。
・設定値表示部にORを表示。



❹
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内
・動作が復旧する。

【6. 異常状態の設定取消】

・26ページの❶〜❸と上記の設定手順❺、❻の操作をおこなう。❹の操作はおこなわない。

【7. 火災スタート】

・設定不要
・指定された起動条件になれば出力する。
（3ページ参照）

書き込みのしかたと確認

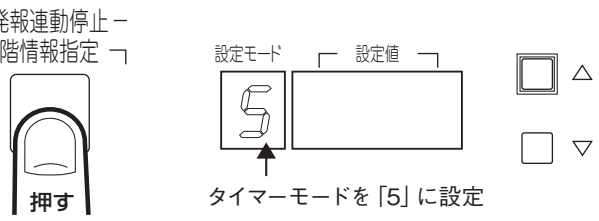
■オプションボード使用時の階情報指定

●別売の音声合成ボードを使用する場合は8ページの **2. 階情報指定** も必ずお読みください。

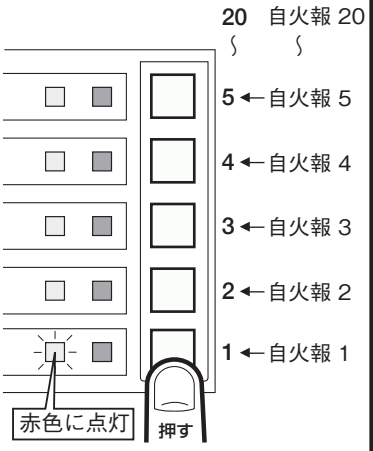
【記憶のしかた】

❶
書込
通常
総合点検
本体マイクドア内

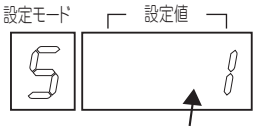
❷階情報指定スイッチを押す。
タイマーモード表示を「5」に設定する。



❸放送階選択スイッチを押す。
出火階表示灯（赤色）点灯。
設定されている階情報の番号が表示部に表示されます。
放送階選択スイッチの番号は自火報の番号を意味します。



❹「△」「▽」スイッチにより自火報のある場所〔1～20(10)〕に階情報を設定します。階情報は下表により設定します。



△ このスイッチを押すたびに階情報番号表示が「1」増えます。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で「1」増え続けます。

▽ このスイッチを押すたびに階情報番号表示が「1」減ります。また約2秒以上押し続けますと0.2秒間隔で「1」減り続けます。

表示番号	階情報	表示番号	階情報	表示番号	階情報
1	1階	11	11階	21	地下1階
2	2階	12	12階	22	地下2階
3	3階	13	13階	23	地下3階
4	4階	14	14階	24	エレベーター
5	5階	15	15階	25	階段
6	6階	16	16階	26	屋上
7	7階	17	17階	27	体育館
8	8階	18	18階	28	講堂
9	9階	19	19階		
10	10階	20	20階		

オプションボード

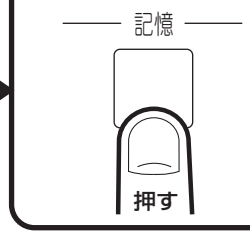
表示番号	階情報	表示番号	階情報	表示番号	階情報
31	オプション1	41	オプション11	51	オプション21
32	オプション2	42	オプション12	52	オプション22
33	オプション3	43	オプション13	53	オプション23
34	オプション4	44	オプション14	54	オプション24
35	オプション5	45	オプション15	55	オプション25
36	オプション6	46	オプション16	56	オプション26
37	オプション7	47	オプション17	57	オプション27
38	オプション8	48	オプション18	58	オプション28
39	オプション9	49	オプション19	――	階情報なし
40	オプション10	50	オプション20		

●「△」スイッチを押して表示が28になりますと、次は31を表示します。表示が58になりますと、次は「――」を表示します。

●「▽」スイッチを押して表示が「――」になりますと、次は58を表示します。表示が31になりますと、、次は28を表示します。

注意
- 上記のオプション設定は日本語のみです。

❺記憶スイッチを押す。確認音（ピー）が約1秒鳴ります。



・設定値が書き込みされる。
・出火階表示灯が消灯。
・階情報番号表示が消灯。
・階情報の入った「発報放送」がモニタースピーカーのみに放送される。

❻左記❸～❺を繰り返しそれぞれの階情報の設定をおこなう。

❼

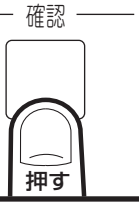
総合点検

本体マイクドア内

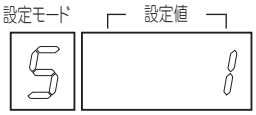
【記憶した内容を確認するには】

❶上記❶～❷をおこなう。

❷確認スイッチを押す。



❸階情報の入った発報放送がモニターから流れます。



（例）

❹

総合点検

本体マイクドア内

その他の注意点

- 書きこみ時5分間何も操作されないと、警告音（ピー）が連続して鳴る。
- 総合点検時設定値表示部で「CHE」を表示する。
- 総合点検時5分間何も操作されないと、警告音（ピー）が連続して鳴る。

書き込みのしかたと確認

【工場出荷時の状態】工事説明書本編24ページのデータ初期化をおこなったとき

設　定　名	設　定　状　態
1. 出火階、連動階設定値 （連動時）	■自火報入力1 出火階表示灯1、作動表示灯1、SP1、放送階選択指示灯 連動階として、作動表示灯2、SP2、 ■自火報入力2 出火階表示灯2、作動表示灯2、SP2(放送階選択指示灯 連動階として、作動表示灯3、SP3 ■自火報入力10/20 出火階表示灯10/20、作動表示灯10/20、SP10/20、 放送階選択指示灯連動階としては無し
(連動一斉時)	■自火報入力1 出火階表示灯1、全作動表示灯、全SP、放送階選択指示灯 ■自火報入力2 自火報入力2.....出火階表示灯2、全作動表示灯、全SP、放送階選択指示灯 ■自火報入力10/20 出火階表示灯10/20、全作動表示灯、全SP、放送階選択指示灯
2. 階情報設定値	■自火報入力1‥‥‥‥‥「1階」 ■自火報入力2‥‥‥‥‥「2階」 ■自火報入力10/20‥‥「10/20階」 日本語のみ
3. タイマー設定値	第1タイマー　:2.0 第2タイマー　:2.0 発報繰り返し間隔繰り返し無し、回数2回
4. 一斉/緊急設定値	全作動表示灯、全SP選択･緊急指定、放送階選択指示灯
5. ブロック設定値	■ブロック選択スイッチ1 ブロック選択作動表示灯1、作動表示灯1、SP1、緊急指定なし ■ブロック選択スイッチ2 ブロック選択作動表示灯2、作動表示灯2、SP2、緊急指定なし ■ブロック選択スイッチ5 ブロック選択作動表示灯5、作動表示灯5、SP5、緊急指定なし
6. 一般リモコン設定値	■一般リモコン個別入力1 作動表示灯1、SP1、緊急指定なし ■一般リモコン個別入力2 作動表示灯2、SP2 、緊急指定なし ■一般リモコン個別入力10 一般リモコン個別入力10作動表示灯10、SP10 ■一般リモコン一斉入力 全作動表示灯、全SP選択･緊急指定、全放送階選択指示灯
7. チャイム設定値	全作動表示灯、全SP選択･緊急指定、全放送階選択指示灯
8. 外部設定値	全作動表示灯、全SP選択･緊急指定、全放送階選択指示灯
9. 外部音源設定値	全作動表示灯、全SP選択･緊急指定、全放送階選択指示灯

【設定モード】

設定モード		設定値	
1	第1タイマー		
2	第2タイマー		
3	繰り返し回数		
4	繰り返し間隔		
5	階情報		
6	使用言語		
7	ブロック設定		一斉放送／緊急設定
			ブロック設定
		1	一般リモコン個別入力１
		2	一般リモコン個別入力２
		3	一般リモコン個別入力３
		4	一般リモコン個別入力４
		5	一般リモコン個別入力５
		6	一般リモコン個別入力６
		7	一般リモコン個別入力７
		8	一般リモコン個別入力８
		9	一般リモコン個別入力９
		10	一般リモコン個別入力１０
		11	一般リモコン個別入力一斉
		12	チャイム
		13	外部起動
		14	外部音源
8	汎用制御出力	1	非常メーク
		2	業務n放送非常時継続
			業務n放送非常時解除
		3	一般リモコンn放送非常時継続
			一般リモコンn放送非常時解除
		4	外部業務放送
		5	音声警報パターン
		6	異常状態パターン

サポートのご案内

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。**
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。
①品　名　②品　番　③お買い上げ日　④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ **販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。**

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードにアクセス
してください。
https://www.unipex.co.jp

■ **その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。**

UNI-PEX
お客様ご相談センター
0120-56-5245（通話料無料）
受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）
携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

お客様控え欄

お買い上げ年月日	年　月　日
販売店名	

メモ